

社長メッセージ

2024年5月27日（月）

■ 「山陽小野田グリーンエネルギー発電所火入れ式」

皆様、こんにちは。先週の『サンリアルティ株式会社』と『児玉舟（こだましゅう）』社長のご紹介では、たくさんの反響を頂き、ありがとうございました。これからも、当社のメンバーや仲間たちをご紹介していきたいと思っております。

先々週の社長メッセージ「まかせられる人が、いる。」でもご紹介致しましたが、先週24日（金）、山口県山陽小野田市に、西松建設様と一緒に建設中の木質バイオマス発電所『山陽小野田グリーンエネルギー発電所』がほぼ完成し、その火入れ式に参列してきました。試運転が開始して1週間が経ちました。約3年がかりで準備してきた事業がいよいよスタートするのかなと思うと、ちょっと感動しておりました。当社グループの主な役割は、この発電所の燃料となる、国内産の未利用材・間伐材の木材チップを調達し、供給することです。先週の社長メッセージで、『サンリアルティ株式会社』は、当社が現在掲げている4つのテーマのうち『地方創生』と『インバウンド』に関する投資事業等を担っていき、その中でも、地域活性化の一環として、特に『山林を活用したクリーンエネルギー事業』にも注力をしていくことをお伝え致しました。わが国の国土の総面積は、約3,800万haです。そのうち森林面積が約2,500万haとわが国総面積の約70%を占めます。わが国には森林組合が644組合あり、組合員数は約155万人ですが、どこの組合も組合員が高齢化して、森林の伐採・植林が進まず、整備が行き届いていないのが現状です。森林が荒れると、河川が荒れ、海が荒れます。わが国の豊かな自然を守るためにも、森林の整備を行うことは極めて重要なことなのです。そのため、私たちは、森林伐採し、植林を行うことにより、森林環境を改善します。森林環境を改善し、河川や海の環境回復を図ります。伐採した木材を、事業として有効に活用します（本プロジェクトの根幹）。地域全体の自然環境を回復していき、次世代に引き継ぐことで、持続可能な生産と消費を考慮した経済活動とライフスタイルの変革に取り組みます。そして何より強調しておきたいのは、この山林事業は、当社グループに大きな収益が見込めることに加え、既に的確な情報と専門技術、経験を備えた高度な人材が揃ったチームを結成し、第1号案件の物件取得に向けて動き始めている点を挙げる事が出来ます。皆様、私たちのこの『山林を活用したクリーンエネルギー事業』について、どうぞ、ご期待ください。

火入れ式の後、地元の『山陽小野田市100人カイギ』に出席致しました。山陽小野田市やその周辺の地域の、特に20代～40代の若い世代の方々が中心となって、地域活性化、町おこしをされている姿を拝見して、『地方創生』のあり方は、こうでなければならないと感じ入っておりました。地元の大学生、主婦、企業経営者、若手社員、東京本社の企業の工場長、大学教授といった様々な分野の様々な年齢層の方々が集まり、色々な角度（例えば、お祭りの開催や地元名産品の東京・大阪での販売計画の立案、各種の共同研究等々）から地元を盛り上げる姿勢に、『地方創生』のあり方

を考えさせられました。この『山陽小野田 100 人カイギ』にお誘い頂いた、中心メンバーのお一人である G&C コンサルティング株式会社の藤村雄志社長に、この場をお借りして、御礼申し上げます。ありがとうございました。今後、山陽小野田市の皆様には、『山陽小野田グリーンエネルギー発電所』と『山林を活用したクリーンエネルギー事業』で、お世話になります。お仲間に入れて頂き、山陽小野田市を盛り上げるメンバーの一員として、頑張っていきたいと思っております。特に、地元大学との産学協働事業を、積極的に進めていくことが出来ればと考えています。他にも、ホテルや店舗開発の運営、投資が求められる下地を作ることが出来れば、地元にとっても、当社グループにとっても、収益につながると考えております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、今週 29 日（水）は、当社臨時株主総会です。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

代表取締役社長 前田 健 晴



『山陽小野田グリーンエネルギー発電所』と建設に関わった方々。向かって最前列右端が前田。



『山陽小野田市 100 人カイギ』